

誤字やひらがなを漢字になおした以外は、感想はほぼ原文のまま。《 》は訂正部分、
【 】は担当教員の補足した部分。

○クジラとオランウータン、海と陸、一体どんな関係があるか想像もつかなかったが、遠いところにつながっているところがすごく面白かった。

○最初は、クジラとオランウータンのつながりがどこであるのか全く分からなかったけど、新しく知ることばかりで面白かったです。アブラヤシは私たちの身近でも使われていて、特にシャンプーや洗剤は手荒れを防いでくれてすごくいい資源だと思いました。けれど、熱帯雨林を消失してまでつくるのも悪いところがあると思うので、難しいと思いました。シンガポール動物園に、行ってみたいと思いました。

○クジラとオランウータンには関係【関連性】がないと思っていたが、意外と関わっていることを知りびっくりしました。私もシンガポールzooに行ったことがあり、オランウータンと触れ合う機会がありましたが、まさか絶滅の危機にあるということを知りませんでした。マレーシアの熱帯雨林が切られることにより、アブラヤシの木を植えることによってオランウータンが絶滅してしまうのはいけないことだと思うけど、パーム油は私たちの生活に密接にかかわっていることを知り、複雑でした。パーム油を普段私たちも食べていることを知って驚きました。私たちの生活とクジラ、オランウータンが関わっていることを今回知ることができてよかったです。

○捕鯨が文化となっている村は、何となく想像で貧しい村なのかと思ったが、市場も盛んで村も整備されていて（家の中の写真があったが、とてもきれいだった）、その考えは間違いだとわかった。捕鯨は彼らの文化であり、国際的な法律による拘束もないのなら、彼らの文化を否定して、自分たちの価値観を植え付けようとするのはおかしいと思う。開発は環境破壊もあり、よくないと考えていたが、自分もその開発で作られた商品を使っている消費者なので開発を悪とすることはできない。アブラヤシの開発を自分は無関係でないことが理解できた。世界の開発は様々な形、理由でつながっている。現地でないとはわからないことは絶対あると思うので、フィールドワークの重要性が分かった。

○クジラとオランウータンと何の関係があるのだろうか興味を持ちました。クジラを捕らなくなることが、オランウータンに影響することはびっくりしました。産業革命などによる工業化や人間がよりよい世界を作るためにしてきたことが、私たちが便利になる一方、追い込まれている動物もいることが分かり、人間は勝手だと思いました。シャンプーやアイスクリームなど、身近なものにも植物性油脂が入っていることが分かりました。

○環境問題には連鎖があるので、一つのことだけで考えるのはいけない。

○一見関係のないクジラとオランウータンですが、実はつながっているということがよく分かりました。エコツーリズムの皮肉という話では、思いもよらなかった現実にはびっくりしました。多くの意見がある中で色々な声を聞き、自分の意見を定めることが大切だなと思いました。

○アブラヤシの話聞いて、便利で長所が多いものほど、とても扱いにくいところや他の点で問題が起きたりするんだなと思いました。アブラヤシ林の開発が進むことで、オランウータンの住

む熱帯雨林が脅かされていると聞いて、悲しそうだとかオランウータンを保護している団体の方たちにも同情の心【同情心】を湧いた【持った】けど、最終的にアブラヤシ、パーム油を必要とするのは私たちであるわけで、なんとも言えない複雑な気持ちになりました。これを踏まえて、私たちが存在する中でオランウータンなどの野生動物、森林や自然が脅かされていない程度にうまく共存していくことが重要だなと思った。

○模擬授業を受ける前までは、クジラとオランウータンに何の関係があるのだろうかと思っていたけれど、今日の授業を受けて、クジラーアブラヤシーオランウータンがつながっている意味が分かった。私たちが普段使っているシャンプーや石鹸にパーム油が使われているなんて知らなかった。こんなところでもやっぱり世界はつながっているんだなと思った。

○自分の興味の合った分野だったので、とても面白かったです。「フィールドワーク」＝現地に行き調査し、自分の目で問題を見て考えること、というのに魅力を感じました。本やコンピューターなど、文【章】だけでは分からないものも自分の目で見て感じるということは大切だと思います。一見、何の共通点もないようなオランウータンとクジラ。この二つが自然や環境を通して深い関係があるということを知りました。赤嶺先生のお話の中に「可哀想だから、～しない、～を止める、というのではなく、“科学的に何が問題なのか、科学的に選択をする”ということが大切です」という言葉で、今までの自分の価値観が変わりました。環境問題や開発問題は自分には何の関係もないことだと思っていましたが、“私たちは無関係者ではない”のだと思いました。それは、開発も行うことによって、直接的な利益を受けるわけではないが、少なからず、その利益を利用している立場になるからです。「安さ”、“便利さ”だけのアピールで、私たちに情報は少ない。」という実態があるということ。どうして便利なのか、低価格なのか、私たちはその裏を知らずに生活しています。今回の講義を聴いて、「生き物は互いに深く関わり合っているということ」、「私たちの生活を守ることは、遠い国の文化や生活を知ること」だと思いました。“問題は単純化ではなく、玉突きに、深く関わり合っている。”その実態を将来自分自身の目で見て考えたいと思いました。

○環境問題は本当に複雑な問題だと思いました。相手の国の加盟している団体などをよく知った上で意見を言うべきだという言葉が印象に残りました。物事は聞く人によって答えが違うのはなるほどと思いました。電気が通っていない村があって、夜、ランプを使っている人たちがいることに驚きました。捕鯨をしなくなったら、夜の明かりにも困ると聞き、そういう意味でも環境問題は複雑だと思いました。保護区があるからということは、周りの地域が開発されているということ。保護区で動物が見【ら】れるということは、周りの地域に住んでいた動物が逃げてきたということ。人間の生活スタイルには環境と確実に関係している。私たちの生活と世界は密接な関係がある。最初に、「クジラとオランウータン」と【いう演題を】聞いて、全然関係がつかめなかったのですが、お話を聞いて、つながっているんだと思いました。マレーシアが石鹸の大量生産で有名なのは何故かが分からなければ、本当の意味で異文化を理解することはできないんだと思いました。

○最初にクジラとオランウータンと【演題を】聞いた時に、何の関係があるのか考えられなかったけれど、話を聞いて、クジラとオランウータン以外にも色々な植物や環境も関係していることに気づきました。小さな村の人たちの支えがあって、私たちの生活は成り立っているんだと思いました。